

日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点

◆ 中核となる専攻等名

アート・リサーチセンター

◆ 申請した分野

人文科学

◆ 拠点リーダー

赤間 亮 (文学研究科・教授)

◆ 拠点サブリーダー

八村広三郎 (理工学研究科・教授)



◆ 研究概要

「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」は、人文系と情報系の融合を狙い、京都や日本文化にかかわる無形・有形文化財のデジタルアーカイブの構築とデータベース(DB)を蓄積してきた21世紀COEプログラム「京都アート・エンタテインメント創成研究」をさらに発展させたものです。すでに100万件以上のデータを持つ国内トップレベルの実績を誇り、マルチメディア型デジタルアーカイブなどの情報技術が人文科学の研究環境や手法を大きく飛躍させ、こうしたデジタルアーカイブが情報および人的なポータルとして、世界の日本研究機関のハブとなり得ることを証明しています。

欧米諸国では人文系研究にデジタル技術を活用する「デジタル・ヒューマニティーズ」と呼ばれる学問分野が確立されてきました。これはまさに「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」の活動に整合するものです。現在、海外の日本文化研究は、ネットワーク型の展開を強めており、日本と海外の研究者間で、研究手法や目的に大きな乖離が生じてきています。

本拠点はそうした世界の最先端の研究動向を踏まえ、さらに大学院を中心とした教育拠点として、グローバルな視点を持ち、海外での研究活動のできる日本文化研究者の育成を目指しています。この構想に基づき、ロンドン大学SOAS、セインズベリー日本藝術研究所・文化研究所、大英博物館、コロンビア大学中世日本研究所などの海外のトップレベルの研究所・博物館との連携も進んでおり、文字通りグローバルに展開しています。

◆ 事業推進担当者 (所属研究科：文学研究科、理工学研究科、先端総合学術研究科、政策科学研究科)

赤間亮、川嶋将生、杉橋隆夫、和田晴吾、木立雅朗、John Carpenter、木村一信、矢野桂司、中谷友樹、河角龍典、金田章裕、富田美香、細井浩一、八村広三郎、Ruck Thawonmas、山下洋一、稲葉光行、前田亮、上村雅之、古川耕平、田中覚、田中弘美、中村彰憲、松本郁代

◆ 評価された点 (グローバルCOEプログラム委員会のコメントより)

日本文化の中心地の一つである京都にあるという大学の地理的利点を活かし、これまでの21世紀COEプログラムの成果を基盤として、人文学とITを結びつける「デジタル・ヒューマニティーズ」の創成を目指す本プログラムは、世界に向けて日本文化を発信する教育研究拠点として目覚ましい実績をあげつつあります。また、大学の将来構想の中に明確に位置付けられており、今後の展開も期待できます。

人材育成面においては、「学位論文テーマ設定型大学院生の公募」などを始め、充実した支援体制が計画されています。また、研究活動面においては、大英博物館を始め、21世紀COEプログラムの成果を踏まえた国際ネットワーク体制が構築されており、今後の飛躍的な成果の発信が期待できます。以上の、教育研究の両面において、「文理融合」の視点からより一層の連携体制・指導体制の実現が期待されます。

◆ 立命館大学 グローバルCOE・関連 ホームページアドレス

日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点 <http://www.arc.ritsumeai.ac.jp/lib/GCOE/>

お問合せ先

立命館大学 研究部 リサーチオフィス (衣笠) 内 アート・リサーチセンター事務局

TEL:075-465-8476 FAX:075-465-8342 Email: arc-jimu@arc.ritsumeai.ac.jp

URL: <http://www.arc.ritsumeai.ac.jp/>